



# 舞鶴医療センター便り

## 花粉症

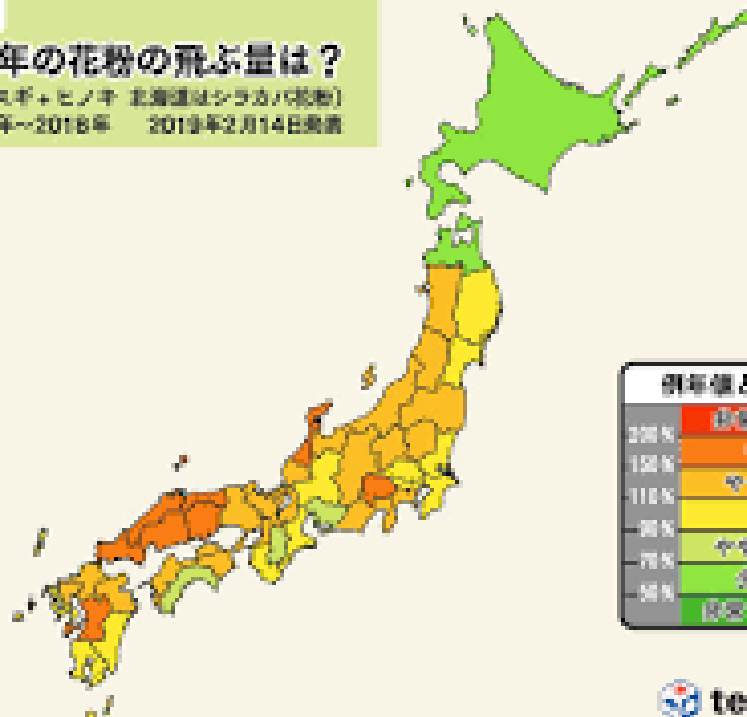


### 例年比

### 2019年の花粉の飛ぶ量は？

(スギ+ヒノキ 北海道はシラカバ花粉)

例年：2009年～2018年 2019年2月14日発表



アレルギー性鼻炎とは？

鼻粘膜の I 型アレルギー疾患で発作性反復性のくしゃみ、水様性鼻漏、鼻閉を三主徴とする疾患で原因抗原によって通年性と季節性に分けられる。

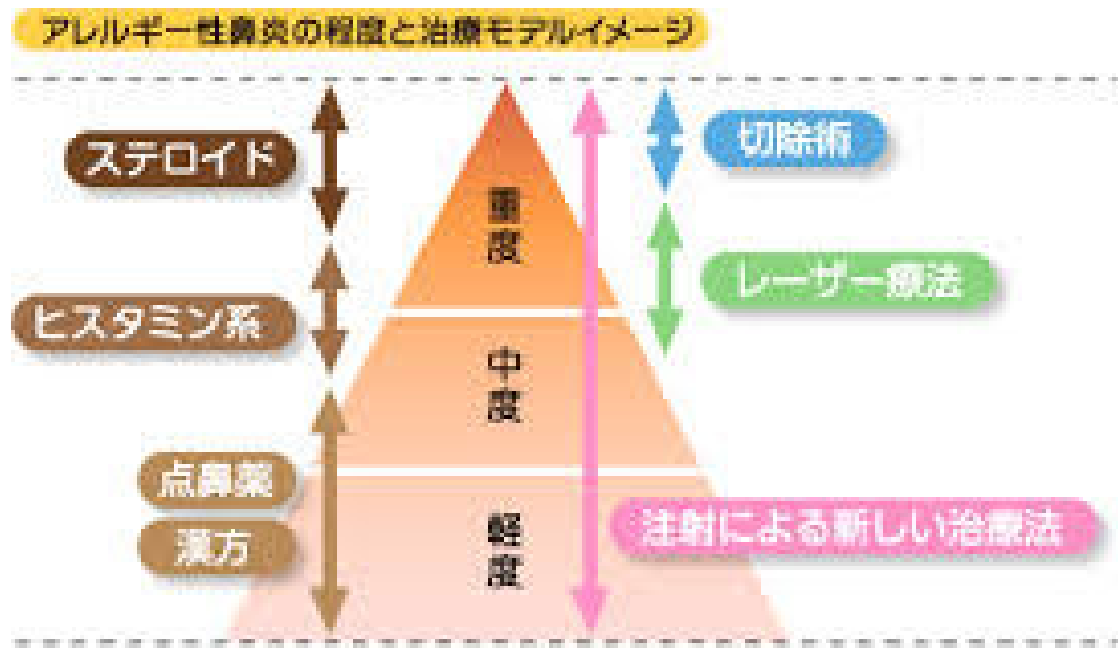
通年性で有症率の高い抗原はハウスダストとダニであり、季節性ではスギやヒノキの花粉である。

ハウスダストとダニによるアレルギー性鼻炎は 10 歳代の男児に多くみられ、スギやヒノキ花粉によるアレルギー性鼻炎は 30～40 歳代に多くみられる。

治療法は？

アレルギー性鼻炎の治療法は、抗原の除去と回避を基本とし薬物療法、アレルギー免疫療法、手術療法を適宜選択する。

花粉症では花粉飛散の初期から薬物投与を行う初期療法が有効である。



(文責：耳鼻咽喉科 呉本 年弘)

発行元：舞鶴医療センター 広報委員会